地域おこし協力隊配置要望書

<table>
<tr><td>地域の目標</td><td>
飛渡地区は、稲作を主軸に畑作も含めた農業が盛んな自然豊かな地域です。しかし、高齢化の波は避けられず、農地を手放す人が多くなっていることも事実です。
また、県内外に広く知られている「田毎の月」や「枯木又エコミュージアム」など、自然環境を生かした地域づくりや、地域で生産されたお米を「生協とのタイアップ」「沖縄への出荷」「関東圏を中心にした幼稚園などへの直接販売」など、稲作を中心にした新たな取り組みも行われています。しかし近年、イノシシなどによる鳥獣害被害により農地を手放す住民が増えつつあります。こういった鳥獣害を減らす取り組みが喫緊の課題になっています。
「食と農を考える飛渡の会（通称：食農会)」では、高齢者が生産した野菜を「直売所」での販売に取り組む活動も実施しています。
協力隊員からかかわっていただく中で、実態把握と課題解決につなげたいと考えています。隊員終了後は飛渡地区に定住してもらうことを目標にします。地域としても全面的に将来の生活設計をサポートしたいと考えています。
</td></tr>
<tr><td rowspan="3">隊員にして欲しい仕事</td><td>
【全隊員共通の活動】
◆地区との関係づくり
・道普請のほか、各種集落行事に参加すること
・地区の活動を支援するなかで、地区への理解を深めること
</td></tr>
<tr><td>
【飛渡地区の活動支援】
<table>
<tr><th colspan="2">目標（地区の将来像）</th><th>今、協力隊がやるべきこと</th><th>活動比率</th></tr>
<tr><td>1</td><td>鳥獣害を減らし、安心して作物が栽培できる</td><td>■鳥獣害現象活動（狩猟免許を持った専門の世話人さんと一緒にする活動）
・地区内鳥獣害の実態調査とマップ作り
・地区内鳥獣害減少対策の方向性を探る</td><td>５０％</td></tr>
<tr><td>2</td><td>「食農会」を中心とした畑作の将来性検討と農産物直売所のあり方を見いだす。</td><td>■食農会活動補助
・直売所の設営・運営・管理、あり方検討
・高齢者の生きがい作り活動の支援</td><td>２５％</td></tr>
<tr><td>3</td><td>地域行事を存続する</td><td>■飛渡地区振興会との連携
・祭りやイベントの継続支援など</td><td>１５％</td></tr>
<tr><td>4</td><td>協力隊 OB、OG との連携</td><td>■企画提案など
・OB、OG と地域が連携できる仕組みづくり</td><td>１０％</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>
【その他の活動】
・地域住民と一緒に、３年後の飛渡地域での生活実現を目指しての準備
</td></tr>
<tr><td>理想の隊員像</td><td>
□向いている人柄、必要なスキル
・協調性があり、地域に溶け込める人。・農業に関心があり、農家と触れ合う事が好きな人
□メッセージなど
飛渡地域を知っていただき、楽しく、明るく、地域の人と接し、いろんな提案を投げかけ、中山間地での暮らしを満喫しましょう。
</td></tr>
</table>

中山間地で自分らしさ、人間らしさを見つけよう

隊員年間活動計画

<table>
<tr><th colspan="2">期間</th><th>具体的な活動概要</th></tr>
<tr><td rowspan="3">第１期</td><td>４月</td><td rowspan="3">・地区内鳥獣害聞き取り調査
・食農会直売所開設準備、運営体制検討、PR 活動
・食農会定例会及び会報発行
・「地区民ふれあい運動会」「地区団体合同総会」「郷土芸能保存会への参加」など地区内行事への参加</td></tr>
<tr><td>５月</td></tr>
<tr><td>６月</td></tr>
<tr><td rowspan="3">第２期</td><td>７月</td><td rowspan="3">・地区内鳥獣害聞き取り調査及び被害状況写真撮影
・食農会直売所開設、運営、管理、PR 活動
・食農会定例会及び会報発行
・「地区敬老会」「川遊び」「各集落盆踊り大会」など地区内行事への参加</td></tr>
<tr><td>８月</td></tr>
<tr><td>９月</td></tr>
<tr><td rowspan="3">第３期</td><td>10 月</td><td rowspan="3">・地区内鳥獣害聞き取り調査及び被害状況写真撮影
・食農会直売所開設、運営、管理、PR 活動
・畑作の将来性を見いだす販売ルートの確立や、地場産野菜の魅力 PR 方法の検討及び次年度につなぐための活動のあり方検討
・「地区民文化祭」「収穫祭」など地区内行事への参加</td></tr>
<tr><td>11 月</td></tr>
<tr><td>12 月</td></tr>
<tr><td rowspan="3">第４期</td><td>１月</td><td rowspan="3">・地区内鳥獣害マップ作り及び猟友会などとの連携による被害減少対策の検討など
・次年度食農会直売所運営のあり方検討
・食農会定例会及び会報発行
・担当区域訪問及び高齢者が集まる機会の創出
・「鮭稚魚放流」「地区冬まつり」「各集落どんど焼き」「鳥追い」など地区内行事への参加</td></tr>
<tr><td>２月</td></tr>
<tr><td>３月</td></tr>
</table>